

令和3年10月29日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開会時間 9時30分
- 2 閉会時間 11時33分
- 3 教育長名 森 英夫
- 4 署名委員 山内 みどり
- 5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦
○	教育委員	岡野 敏彦
○	教育委員	山内 みどり

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 黒石 徳子 |
| 教育総務課長 | 下條 博史 |
| 生涯学習課長 | 釧持 直人 |
| 教育総務課長代理 | 田中 明夫 |
| 生涯学習課長代理 | 竹本 直昭 |
| 教育総務課指導班長 | 安藤 通晃 |
| 教育総務課教育総務班長 | 大木 健司 |
| 教育総務課教育総務班主査 | 添田 理代 |
- 7 傍聴者 3名
- 8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和3年度10月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

山内委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 10月政策会議結果報告・議会定例会報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(野谷委員) 一点目は10月19日の政策会議結果報告の民間学童保育所の中里キッズの進捗状況です。この話を最初に聞かせてもらったのは一昨年だと思います。教育委員会は担当課ではないと知っていますが、時間が掛かった経緯等を分かる範囲で教えていただきたいです。

二点目は令和3年3回議会定例会報告の議案(1)令和3年度二宮町一般会計補正予算(第6号)は、補修の内容に見えますが、それでも反対意見があるのは、どのような意見が出たのかを教えていただきたいです。

(教育部長) 学童保育所は、健康福祉部から教育委員会にも報告をいただいています。工事を始めるにあたって、一時的に学童保育所を移転する場所を探していて、一色小学校にできないかとお話をさせていただきました。当初から約2年、今年度中は掛かると聞いていました。確かにもう少し工期が短いイメージはあるかもしれませんが、予定に沿って進められてきたと思っております。また、年数回ある県の審査会で審議をさせていただいて、進めていく流れがあります。担当課から年内にはほぼ出来上がるということでお話をいただいています。

議会の予算ですが、今回ここに出させていただいたのは、教育委員会の関係だけです。施設の補修、修繕の関係以外にも他の課で補正をされています。審議結果の議事録を持ってきていないので具体的なお話はできませんが、この後、議会事務局から議事録が出ますので、確認していただければと思います。議員さんからもそれぞれ一定のご理解は示していただきながら、ご意見をいただいたものですので、全てに反対というものではないと理解しています。

(山内委員) 教育長事務報告の、10月20日の議会教育福祉常任委員会勉強会について、どのようなものであったか詳しい説明をお願いします。

(教育長) 吉新先生と清水先生から、二宮町のこれまでの取り組みとこれからの取り組みについてお話をいただきました。清水先生からは、小中一貫教育の必要性和今まで

二宮町が取り組んできた歩みのお話をいただきました。吉新先生からは中心となる資質能力の育成ということで、子ども達の教育の根本のところを、先生達に共通理解を含めた上で、一人一人を見取る先生の姿勢、教師の意識を改革するということを中心にお話をいただき、議員さんからもご理解をいただきました。

(山内委員) ご理解、納得いただけたというお話で安心しましたが、小中一貫のプロジェクトは進んでいるかどうかという質問はあちこちで最近よく耳にします。教育委員会では清水先生をリーダーに一貫カリキュラムを作成したり、小中の先生の話し合いや、乗り入れ授業の実施など開始に向けて着々と進んでいるので、教育委員会や学校の中だけではなく、広く現状を公開していかなくてはならないのではないのでしょうか。教育委員会としては、小中一貫の施設分離ではなく、一体型を目指していて、出来るだけ早く実施する方向であることを、強くPRしていくべきと思います。

今朝、二宮小学校で授業を参観させていただいたとき、先生方から体育館を修理したけれど、体育館の窓が開かなくなった、とお聞きしました。先日、修学旅行の説明会で保護者に集まってもらった時は、夕方の西日が強くてすごく暑かった、とのことでした。長寿命化計画で校舎などをできるだけ持たそうということで進めていますが、その都度の修繕でもたせるのも、不安があります。現場でのいろいろな不具合、不都合が見えてきているので、教育委員会としての考えをしっかり持って進んでいる姿を、町民にお見せしていく方法はないものかなと思います。

また年度当初に小中一貫校説明会の三巡目をやりましょうということを決めたと思います。具体的にいつ頃どのようにやっていくかを、そろそろ決めて実施する方がいいかと思います。

(教育長) 今現在だと分離型ということではあるんですけども、小中一貫ということで、先生方が子どもを育てる姿勢を揃えて、小学校の段階で主体的対話的の中で対話ということを中心に、子どもの心からの知識理解の関係、資質能力を高めようというところに重点を置いています。施設一体については、前回の意見交換会を受けた後、今すぐ学校と学校を合わせるのは難しい部分がありますが、子どもの人口増減、総数、学校の規模を考えながら、改めて施設一体型については考えていきたいと思っています。差し当たっては、近々の学びとしては吉新先生に入っていた、子どもを筋を一本通した指導方法に基づいて教えていくということを学ばせていけたらなと思います。

(岡野委員) 小中一貫教育については、大きく二つの部分があると感じています。一つは純粋な教育の中身の部分です。特に、中一ギャップの解消や、子どもに備わっている資質や能力をどうやって育成するかなど、教育の中身の根幹部分は吉新先生のシステムでやっています。もう一つの、その教育をより際立たせていくために学校の規模や、これからの学校の配置など、二つはセットであるべきだと思います。まだ見えていない部分もありますが、一体型の方が教育効果が高まるというのが、恐らく揺るぎない目標値になると思うんです。その時に、それをどうやって、いつの段階で実現していくのか

を、もう少しはっきりさせるべきか、と思います。我々の勉強会で、教育の中身については、一貫教育が故の教育効果というのがある程度あるんだなというのが、少なくとも教育委員の中では勉強を積み重ねてきて、実感しているところなので、それを実現したいという思いが非常に強いです。そのために学校をどういう規模で、どこにいつ造っていくのかをそろそろ考えていくべきだと思います。いつまで経っても最終目標しか見えていない状態なので、その目標を実現するためにどんな要件が揃えばできる、というのを少なくとも今年度中に決めるべきだと思います。

(野谷委員) 小中一貫教育の中身は、吉新先生を中心に各学校で取り組み始めていて、見通しが出てきて期待するところも大きいです。

もう一点はハード面です。まず、将来小中一貫校をどの場所に置くかということ念頭に置きながら考える必要があります。その上で当面の課題として1番目に一色小学校の児童がそれぞれの中学校に行った時に少人数であることを、どうするのかという問題があります。2番目に、来年度から二宮西中学校が二学級で、少なくとも6年間は99%の確率で決まっています。この弊害は、中学校の教科の専門の先生が教えるということに大きく影響します。また、教員の働き方改革にも関わるのですが、部活動の活動などの問題もあります。また、2040年くらいには山西小学校も単級化するというスケジュールがはっきりしている訳です。

一方、二宮小学校の体育館を多額の費用を掛けて修繕することはなかなか難しい問題があります。けれど施設の老朽化で次々に古い施設設備を補修してやっていく上で、使う面での問題。それから費用的な問題もあります。それらを含めてハード的な見通しを教育委員会としての方向性を早急に決めていかなければいけないと考えます。

(教育部長) 岡野委員さん、野谷委員さんのおっしゃることよく理解しているところです。教育委員会も、小中一貫教育校の目標は、施設一体型での学校施設というのは絶対変わらないところですので、その中でも今決まっているのは令和5年から分離型の小中一貫教育をスタートさせるというのは決まっていますので、どういう風に進めていくのかは計画の中で示していかなければならないと思います。岡野委員さんのおっしゃったとおり、どういう風にしたら施設一体化に出来るか、そういうところまで今の計画の中に盛り込んで行きたいと思います。それを来年度以降に研究して施設一体型を、何をクリアすれば出来て、それがいつなのかというのを、その計画に基づいてやっていき、それが出来るための、基になる計画を今年度中に作っていきたいと考えています。教育長からもいろいろお話聞いていますので、一緒に考えていけたらと思いますので、是非、よろしく願いいたします。

(教育長) 先程山内委員さんからもお話があった、二宮小学校の体育館についても、施設再編課と相談しながら考えており、早急に取り組みますので、ご承知おきいただければと思っております。

(岡野委員) 先程、二宮小学校体育館の話が出ましたけれども、今ある学校施設を満

遍なく直していくのがいつまで続くのかというのが、正直感じているところでもあって、例えば今ある学校施設のどこを将来残していくんだ、という方針があれば、そこに重点的に予算配分すべきかと思います。その一方で、今ある学校の場所や規模を考えたら、新しく作るべきではないか、という考えも当然あり、学校を新設するのか、今ある学校のどこを重点的に使っていくのか、方針が出ないと長寿命化計画の予算配分も決めていけないんじゃないか、と感じます。どこも満遍なくやって、時間が立ったら壊れて、延々繰り返されて、その方針を先に入れて舵を取ると長寿命化計画とか、補修計画とかそれにぶら下がっていくものなのか、って感じるんですよ。学校を一枚建てて、40年使った場合、多額の初期投資は掛かりますけど、その後のメンテナンスや維持費は緩やかになります。それと、こまめに修繕していく方法の損益分岐点が40年より手前にあるのか先にあるのかで判断するべきだと思います。長寿命化計画を立てて判断しようとしたとき、新築を立てた場合の例と並べていかないと公平に比べられないのではないかと感じるので、検討の視野に入れてお願いしたいと思います。

(教育長) 以前から議員さんからも小中一貫校を作るときから言われていますし、意見交換会の中でも人口統計から考えると今現在ではない、ということをお答えさせていただきました。それはいつまでとなるとロードマップを作って、そこに行く道筋を作る。ただし、意見交換の反応を見ますと今すぐにこの学校をここにというのは難しいので、皆さんにお示しする段階ではもっと丁寧な説明会をしていかなければいけないこと、町民の方からの意見も吸い上げていけないことも考えていければと思います。

(渡辺委員) 今年度は小中一貫について勉強会にも参加し、昨年度から始まっている学校への内部の働きかけで、学校への変化を保護者としても感じていて、楽しみな部分が見えてきている、と感じます。すぐに大きな結果にはならないと思いますが、数年後に子どもたちが小学校中学校に繋がってどのように成長していくのかを引き続き丁寧に見ていきたいな、と思っている一方で、皆さんの意見でもあったように具体的に教育行政をどのようにしていくのかを密な話し合いをできたならいいなと思いました。10月11日の教育福祉常任委員会勉強会のフリースクールについて内容をお聞かせください。

(教育部長) 星槎学園の方に来ていただき、県道沿いの中里にある教室について聞かせてもらいました。どういう事業や取り組みをやっているのか、学校には行けないけど、子どもの居場所として色々な形があるなど分かりました。やまびこと共通するところもあり、もう少し自由な取り組みをしていて、校外活動も活発にやっています。実際に話しを聞いてよく分かり、身近なところとして連携ができればいいな、と感じました。

(教育長) フリースクールは、今月は週2回だったが来月は週3回行こうなど子どもが行く日を自分で決めることができます。子どもたちが少しでも他人と接触する機会を設けることをフリースクール側で用意されています。学校教育を推進する身としては、もう少し社会性を学ばせるためにも色々な体験ができる学校に来てもらえるとありがたいな、と思っています。やまびこは学校教育と結びついているので、やまびこに来て

もらい、少しでも学校の雰囲気を感じながら、学校に戻ることも視野に入れてもらえるといいな、と思いながら聞きました。

(渡辺委員) やまびこに行くのか、フリースクールに行くのか、というのは家庭の方針なのでしょうか。

(教育総務課長代理) フリースクールややまびこのどちらを選択するのは、保護者と子どもの判断によります。やまびこは、随時見学体験を受け入れています。子どもによっては、やまびこも難しい場合もあり、家庭の判断であきらめる場合もあります。一方で、体験で通ってみよう、という方もいます。また、家庭によっては、やまびこではなく、フリースクールを選択する場合がありますので、子どもにあった選択をしてもらっています。

(教育長) フリースクールは私費で運営をしているため、学校教育の出席扱いにするかは学校長と相談して認めるかどうか、と文部科学省から言われています。

4 付議事項

(1) 議案第12号 二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について

(教育総務課長) 議案第12号 二宮町教育委員会点検及び評価報告書(案)について資料に基づいて説明。

(岡野委員) 丁寧に精査していただき、要望なども盛り込んでもらい、客観的にみて内容も分かるし、妥当な結果だと思います。今後、評価BをどうやってAにしていくのか、重点的に考えていくべきだと思います。Bは屈辱的な評価だと思うので、Aにしていくことをお願いしたいです。令和3年度の上半期が終わっていますが、B評価に対して今の時点でどうしていくのか決まっているか気になります。1年終わって活動を振り返って、思い出しながら報告書を作っていくプロセスではなく、年度当初に目標値を宣言して、1年後に評価をしますが、今の時点でも何かしら思いがあるはずなので、それをどこかに書いておく、来年度の点検評価の前半部分はできていて然るべきかと思えます。また、BをAにする目標値は設定しているのか、次のステップとしてお願いしたいです。

(教育総務課長) BをAにする部分は、正直取り組めていない部分もだと思います。今回、来年度予算に反映できる時期に確定させようと早めました。下半期を意識するためにBからAにするために施策を何をするか考えるために担当に記入をお願いしました。教育委員さんと私たちだけが考えるのではなく、担当として今何ができるかを考えたうえで作ってほしい、と。マインドをセットしているところなので、今何ができるかは無いのですが、ここに書いてあることはやっていきたいと考えています。

(岡野委員) BをAにするために教育委員が何をすべきか何ができるのか、書いても

いいと思います。自分たちだけで全部やりきろうとしないで、チームとして達成できればいいことで、そのために教育委員の立場で考えて欲しいことがあれば遠慮なく言ってもらい、色々な立場の目線から検討して案を出していくこともできると思います。その上で到達できないのは、そのレベルの課題設定だったということで構わないと思います。

(山内委員) 小林評価委員は教育委員をなさっていたときにこの評価方法の改善に大変ご尽力されました。今回小林委員に深く読み込んでいただき、高く評価していただけたことを、とても嬉しく思いました。また、案の提示がこれまでより時期的に前倒しかったことは大変有難く感謝致します。

(教育長) 委員に議案第12号について諮る。

委員全員賛成により、議案第12号は承認される。

(2) 議案第13号 令和4年度二宮町公立学校教職員人事異動方針(案)について

(教育総務課長) 議案第13号 令和4年度二宮町公立学校教職員人事異動方針(案)について資料に基づいて説明。

(教育長) 委員に議案第13号について諮る。

委員全員賛成により、議案第13号は承認される。

(2) 議案第14号 スポーツ推進委員の委嘱について

(生涯学習課長) 議案第14号 スポーツ推進委員の委嘱について資料に基づいて説明。

(岡野委員) 欠員のある釜野地区は、近々補充される予定ですか。

(生涯学習課長) 地区からはまだ推薦があがっていませんので、見通しが立っていない状況です。

(教育長) 委員に議案第14号について諮る。

委員全員賛成により、議案第14号は承認される。

5 報告・協議事項

(1) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

(教育総務課長代理) 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について資料に基づいて説明。

(山内委員) ご説明の中の『基本的な生活習慣』のリズムがあまり思わしくない理由は、子どもたちの生活の多忙さにあるということでしたが、全国的に見て、二宮町の子

どもは忙しいのでしょうか。身近にゲームセンターがある、夜通しにぎわう繁華街があるような都会に比べれば、環境的にも二宮町は健全だと思います。規則正しい生活習慣ができていない要因は何なのでしょう。

(教育総務課長代理) 家庭での生活が多い部分ではあるので、結果を各学校から保護者へフィードバックして、少しでも改善できればと思います。

(山内委員) 就寝時間が遅く、従って起床時間も遅く、昼間の集中力が落ちてしまっているのではないかと思います。高校生で、夜スマホを触らなくなって劇的にモチベーションが上がり、人が変わったように生活の全てが改善された例があります。小中学生でもやはりスマホとの付き合い方が影響しているのではないのでしょうか。

(教育長) 7, 9, 10 番の設問は、中学生になると夢や希望が少なくなる傾向があります。そこで小中一貫教育で、学校と家庭と連携して子どもたちを育てていければと考えています。

(野谷委員) 比較的中学生の学力検査の結果は全国平均より良いが、質問紙調査の生活習慣だと全国平均値より低い設問が多いです。昨年度は学力調査がなかったもので、一昨年の結果と比べても、同じ時刻に寝ているがさらに2%低い状況でどうなんだろうという印象があります。地域とのつながりについて、小学生は一生懸命だが、中学生は全国や神奈川県平均よりも低いのが気になりました。中学生の『17. 家で自分で計画を立てて勉強をしている』は、70.2%で一昨年は45.8%でV字回復してすごいな、と思いました。『42. 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ』88.4%で一昨年は57.1%と向上しています。受けている子どもが違うし一概に言えませんが、吉新先生の成果がでていないのかもしいないと思いました。

(渡辺委員) 『1. 朝食を毎日食べている』は概ね全国平均と変わりませんが、朝食を食べないでいると給食が12:30頃で結構長い時間なので、午前の授業の集中力が心配になります。もし、可能であれば朝食が食べられない理由が分かるといいな、と思います。親が作ってくれないや寝坊したなど理由によって見えてくることもあるかもしれません。『2. 毎日、同じくらいの時刻に寝ている』『3. 毎日同じくらいの時刻に起きている』で次の日に学校があるときは、早めに就寝起床しているけど、週末の金曜日は夜更かししている場合もあると思います。子どもの素直さによつての数値の変化もあるかもしれませんので、平日のみだと変わるかもしれないな、と思いました。

(岡野委員) 正答率と中央値はどういう関係なのでしょう。

(教育総務課長代理) 単純な真ん中の値になります。

(岡野委員) 中学校の数学の正答率61%と落ちています。それに対して、課題が見られる設問が一つしか上げられていませんが、他にはないのでしょうか。

(教育総務課長代理) 達成率と全国と差が大きい設問であげています。年度によって

難易度にばらつきもあります。

(2) 二宮町立中学校修学旅行中止に伴うキャンセル料補助金交付要綱を廃止する要綱

(教育総務班長) 二宮町立中学校修学旅行中止に伴うキャンセル料補助金交付要綱を廃止する要綱について資料に基づいて説明。

(3) 二宮町立中学校修学旅行中止に伴うキャンセル料補助金交付要綱

(教育総務班長) 二宮町立中学校修学旅行中止に伴うキャンセル料補助金交付要綱について資料に基づいて説明。

(岡野委員) 今後のために、日付の部分は確定的にせずに、適宜決めるみたいな書き方にできないのでしょうか。

(教育総務班長) 前年度は時限措置にしましたが、今年度制定した要綱は、時限措置を抜いているので、また同じような状況になってもこの要綱は使えることになっています。

(4) 二宮町児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱

(教育総務班長) 二宮町児童生徒就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について資料に基づいて説明。

(野谷) 家庭にはいつ頃支給されますか。

(教育総務班長) これから申請の受付が始まり、支給は年明けの2、3月の予定です。

(5) 二宮町まちづくり小中学生アンケート結果まとめ及び中学校生徒会ワークショップ

(教育総務課長) 二宮町まちづくり小中学生アンケート結果まとめ及び中学校生徒会ワークショップについて資料に基づいて説明。

(6) その他

(教育総務班長) 神奈川県が抗原キットを小学生に配布しました。10月14日に各小学校に到着し、翌週各家庭に2セットずつ配布されました。

入学式の日程ですが、今年度は4月6日を行いました。県内で先行した事例になり、来年度4月6日に入学式をしたい自治体から問い合わせを多数いただきました。来年度も4月6日に入学式を行う予定です。理由として、教員の働き方改革があります。これまでは準備のために土日に出勤する必要がありましたが、6日にすることで平日に準備

することができるようになりました。

(教育総務課長) 今年の入学式を4月6日にやる自治体は二宮町ともう一団体しかありませんでした。他自治体の課長からも問い合わせがあり、『教育委員さんから何か言われませんでしたか』、と聞かれました。二宮町は全員賛成してもらいました、と答えたところ、『二宮町は柔軟ですね』、教育委員さんから『伝統だから日付をずらすのはダメだ』と言われた自治体もありました。

－ 次回教育委員会予定 －

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

11時33分 閉会